

謹賀新年

新

年あけましておめでとうございます。旧年中は、町政に対し、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は能登半島地震など、自然災害が発生し、改めて防災の重要性を認識させられました。本町においても、急傾斜地崩壊や津奈木川水系の氾濫などの災害リスクを抱えていることを再認識し、防災体制の強化や防災施設の整備により一層取り組んでいく必要があると考えております。また、昨年は本町にとって、歴史的な出来事がありました。林賢二さん、恵子さんご夫妻が献穀者に選ばれ、皇室行事「新嘗祭」に献上される米と粟を育てる献穀事業が初めて執り行われました。清祓祭から奉告祭まで、厳粛かつ神聖な儀式が滞りなく行われ、町民あげて五穀豊穣を祈念いたしました。これもひとえに、林さんご夫妻の献身的な努力と、町民の皆さまのご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

あ

けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春を健やかに迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃から町議会への深いご理解と議会活動に対する温かいご協力・ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、石川県能登地方で最大震度7の地震が発生。パリオリンピック・パラリンピックの開催や大谷翔平選手の活躍、石破内閣の発足、新紙幣の発行など、さまざまな出来事がありました。原油や原材料費の高騰、止まらない円安などにより、食料価格等が高止まりとなるなど、町民生活にも大きな影響があった1年でもあったのではないのでしょうか。一方、町内では猛暑の影響により野球大会は中止となりましたが、5年ぶりの町民大運動会が開かれました。夏祭りやふれあい祭りも開催され、コロナ禍前の賑わいにもどりつつある状況となっております。四季彩周辺の魅力アツ

さらに、町民の皆さまの健康増進と交流促進、観光客の誘致を目的として「つなぎ温泉四季彩周辺魅力アップ事業」にも着手いたしました。ことしで開館30年を迎えるつなぎ温泉四季彩を宿泊施設にリノベーションを図ることが目的です。

第10期振興計画では、「人と自然、アートがつなぐ希望をもって住めるまち」をメインテーマに掲げ、持続可能なまちづくりを目指しています。人口減少と少子高齢化が進む中、町の活力を維持するためには、魅力的な雇用環境の整備や、子育て支援の充実が不可欠です。また、地域コミュニティの活性化も重要な課題です。地域住民が主体的に活動できるよう、町としても積極的に支援してまいります。結びに、本年が皆さまにとって、幸多き素晴らしい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

ア事業の工事も始まり、ことしの夏ごろには宿泊交流施設としてリノベーションされた温泉四季彩を利用できる予定です。整備された施設を利用したイベントなどによるこれからの本町の賑わいを期待するところであります。町議会においてもふれあい祭りで「まちかどカフェDE議会」を開催。住民の皆さまと交流の場を設け、アンケート調査を実施いたしました。ことしは新たな取り組みとして、多くの方からご意見をお伺いし、これからのまちづくりに生かしていくために、議会モニター制度の導入や議会報告会を予定しております。さらには、全議員に配付しておりますタブレット端末を活用し、議会のDX化の推進にも取り組んでまいります。町民の皆さまには引き続き議会に對しまして、ご協力とご支援をお願い申し上げます。結びに、本町にとって新年が、夢と希望に満ちたすばらしい年になりますよう心よりご祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

津奈木町長

山田 豊隆



津奈木町議会議長

柳迫 好則

